

子育てを楽しむ心

桜のつばみも膨らみ、新しい季節がやって来ます。春の始まりは、大人も子どもも新しい出会いに期待と不安で心がドキドキわくわくしますね。

保護者の皆さん、今日までの子育てお疲れ様でした。わが子の成長はうれしく楽しみで、笑顔や寝顔に癒やされ、泣き顔すらかわいらしく、日々の疲れも吹き飛ばすほど愛おしい存在だと思います。夫婦に生命が宿った日から無事に誕生することを願い、誕生からは親として健やかな成長を願い、毎日がハラハラドキドキの連続で子育てをしてきたことと思います。第一子の子育ては楽しむどころではありませんね。それが第二子、第三子と子育てを経験していくうちに不思議と余裕が出てきて楽しめるようになり、親として成長します。経験に勝るものはありません。

祖父母や園の先生たちと手を携えて育てたお子さんも春には進級です。大きくなりました。

令和2年の春は、例年の進級のドキドキに加えて「新型コロナウイルス感染症」への不安がありました。「感染症」に悩まされ続けた令和2年度が終わろうとしています。これまで当たり前に行ってきたいろいろな行事を開催できただけで、本当にうれしく思います。どの園もコロナ禍だからと諦めずに、こうした状況の中でも園児にできるだけ今まで通りの体験と思い出を残してあげたいと、先生と保護者一丸となって取り組みました。園児や保護者の努力と協力で「工夫すればできる」を体験できた1年でした。

私が幼稚園教諭として勤務を始めた昭和54年からの40年間は、変化が目まぐるしく、「送迎バス、給食、預かり保育、課外指導」は当たり前になり、幼稚園の役割は多様化しました。平成27年からは「子ども・子育て支援新制度」が、令和元年10月からは「幼児教育・保育の無償化」が始まり、子育て環

各県の幼稚園の先生から パパとママへのメッセージ

今月の筆者

青森県私立幼稚園連合会 理事
認定こども園 さつき幼稚園(十和田市)
園長 田中真由美先生



境は改善されました。

子どもたちはさまざまな体験を通して成長していきます。私自身、子どもの頃に体験したことは今でも生きる力になっています。いつの時代も「人を育てるのは人」。保護者の皆様には、わが子に「考える力」を身に付けさせることができるたくさんの体験をさせていただきたいと思います。子どもたちには、目標に向かって諦めずに「挑戦する心」、変化に対応して「生き抜く力」を身に付け、幸せな人生を送ってほしいと願っています。